



5月3日、熊本城築城400年記念事業の一環として、県内の伝統芸能団体を集めて開催された特別舞台「熊本城華舞台〜肥後っ子がつなぐ伝統芸能〜」に、平国六方踊り風ん子もやい保存会が出演しました。

当日は、熊本城奉行丸広場に設置された特設ステージにおいて、朝10時からと正午から、そして午後2時から計3回の公演を行いました。はじめのうちは緊張していた児童も、回数を重ねるにつれて徐々に緊張もほぐれ、大きな声で堂々とした演技を披露していました。



4月24日、津奈木漁協前の海岸で、全校児童約50人が参加して、ヒラメの稚魚放流が行われました。

これは、県が平成2年から実施しているヒラメパイロット事業によるもので、本町では子どもたちにもこうした資源管理型漁業を理解し、海に親しんでもらおうと毎年実施しています。

当日は、児童達の手によって約5センチほどに育ったヒラメの稚魚約4万5千匹が放流され、放流後は児童からの質問に津奈木漁協の関係者が分かりやすく説明をしていました。



→5月11日に開催したおはなし会の様子

図書館だより - 子ども読書週間を実施 -

4月23日の「子ども読書の日」から5月12日までは「子ども読書週間」でした。

町図書館では、この読書週間に合わせて、5月11日、たくさん本を読んだ子ども10名の表彰と、おはなし会を開催しました。なお、表彰を受けた10名は、全員が年間100冊以上を読んでおり、最高は879冊という結果でした。

図書館では、今後も本の充実に努めます。皆様のご利用をお願いします。



古中尾里山でタケノコ堀り体験

4月27日、古中尾地区里山で、古中尾子供会と緑の少年団員が参加してタケノコ堀りが開かれました。古中尾森友会(※)の主催。

当日は、タケノコ堀りは初体験という子ども達ばかりで、はじめのうちは戸惑いもありましたが、参加者はみな一生懸命に収穫作業に取り組んでいました。また、この日収穫したタケノコはそれぞれ自宅に持ち帰りました。

※水と緑の森づくり税を利用して作業道整備や雑木林の抜き切り等を実施。特に昨年から古中尾里山を舞台にした自然体験学習も展開している。